

スマスイ 自然環境保全 助成制度

須磨海浜水族園では、神戸市および周辺地域における生物多様性の保護や、自然環境保全活動を推進していくことを目的に、新たに「スマスイ自然環境保全助成制度」を2010年7月に創設しました。

本制度は、近畿・中国・四国地方で、水生生物や生物多様性に関する調査・研究活動に取り組む個人・団体に対し、必要な器具・材料・旅費等の費用を1件当たり上限50万円とし助成を行うものです。

2010年度は、5件の調査・研究活動を採択しました。その活動内容を紹介します。

研究企画課
中村清美

最近顕著に少なくなった 神戸市須磨区旧市街地地域の在来カメ類

【北須磨自然観察クラブ】

神 戸市須磨区の平野部にはかつてはニホンイシガメが生息していたが、現在では、北アメリカが原産のミシシippアカミガメがカメ類の大部分を占めている。また、ウシガエルやアメリカザリガニなども侵入しており、その淡水生態系は日本本来のものと大きく異なっている。そこで、本研究では須磨区の平野部における淡水生態系を再生するための試みとして、須磨離宮公園内にある新池で生物調査と外来種の除去を実施した。新池で生息を確認した動物はミシシipp

アカミガメ16個体、クサガメ3個体、アメリカザリガニ76個体、ウシガエル幼体33個体のほか、メダカ、ヨシノボリ属、コイ、カワニナ、ヒメタニシ、スジエビ、ミナヌマエビである。このうちアカミガメ、アメリカザリガニ、ウシガエル幼体は新池から除去した。また、啓蒙活動の一環として、北須磨小学校でクサガメの繁殖施設を整備したところ、16個体の幼体が得られた。当団体会員の自宅でそれら幼体の飼育をしており、将来、自然に戻す予定である。



幼体を中心とした淡水産カメ類の野外生態

【松久保晃作】

淡 路島は淡水ガメをよく見かける地域であるが、その分布状況を詳細に調べた例はない。本研究ではまず、島内における淡水ガメの成体の分布を調査し、さらに産卵場所と幼体の生息場所を調査した。その結果、イシガメ37カ所、クサガメ22カ所、ミシシippアカミガメ14カ所の生息地を確認した。イシガメの産卵に関しては3例

を確認した。いずれも6月に見られ、産卵数は6卵が2例、7卵が1例であった。場所は全て洲本市の林道の脇であった。産卵には至らなかったが穴を掘る産卵行動が見られた例も2例あった。また、クサガメの産卵も3例観察された。場所はいずれも洲本市の水田地帯であり、産卵は全て7月の早朝に行われていた。

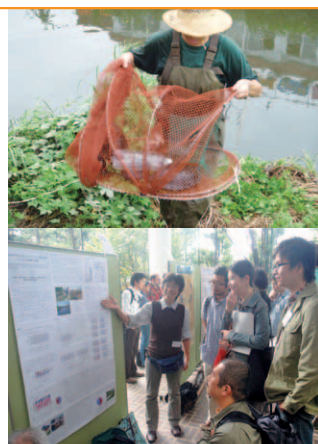


ミシシippアカミガメの駆除による 在来種のカメ類の生息状況の変化

【和亀保護の会】

和 亀保護の会は、2004年から大阪府の大正川およびその支流と水源である松沢池において、カメ類の種組成など生息状況の調査とともにミシシippアカミガメの駆除活動を実施している。本助成では、2010年7月から11年3月までに計28回の捕獲調査を実施し、ミシシippアカミ

ガメ122頭を駆除するとともに、イシガメのべ62頭とクサガメのべ213頭を再放流した。これまで駆除を続けてきたにも関わらず、捕獲されるカメのうちアカミガメの占める割合はそれほど減少してきていないことから、調査地では何らかの形でアカミガメが供給されていることが示唆された。





牛窓周辺海域におけるスナメリの生息状況の把握

【牛窓のスナメリを見守る会】

瀬 戸内海でスナメリの生息数の減少が指摘されている中、岡山県南東部に位置する牛窓周辺海域では、いまだに比較的多くの目撃情報がある。そこで、小型船舶やシーカヤックを用いての海上での観察、陸上からの定点観察、目撃情報の収集を行った。その結果、7月から2月までの間に、小型船舶では20回、シーカヤックで

は6回、陸上からの観察では12回、それぞれスナメリを発見した。また、19件の目撃情報が寄せられた。特に「サカケの鼻」および「一本松」と呼ばれる場所の沿岸域での発見が多く、これらの場所では、1群2、3頭ほどの群れが、数群観察されることもあった。



高知県室戸定置網における混獲・廃棄魚問題の解決及び有効利用に向けた研究

【漁師のNPO】

海 洋生物の研究は、これまで水産上有用な種を主な対象としてきた。しかし、生物多様性の重要性が社会で認識されるにつれて、非有用種の研究の必要性も高まっている。海洋の生物多様性を調査する手法の一つとして、定置

網に入網する生物の調査がある。今回は高知県室戸岬にある定置網に入網する生物の中で、これまで記録として残されていない非有用種の目録を作成した。その結果、25目94科142属173種を記録した。

2011年度も10件の研究が助成対象として選ばれ、現在、調査・研究活動中です。この助成制度は今後も継続する予定です（1回/年募集）。われこそは!と思う方がいらっしゃいましたら、2012年度のご応募をお待ちしています。

2011年度 スマスイ自然環境保全助成研究一覧

		研究課題
1	北須磨自然観察クラブ	須磨区在来淡水カメ類の復活と保全
2	特定非営利活動法人 野生生物を調査研究する会	会の目指す人づくりの一環として、淀川の流域を「ひと・くらし・自然」をテーマに2年間調査研究し、その3年目に環境学習用副読本「生きている淀川」を作成するための、調査研究事業
3	和亀保護の会	ミシシippアカミガメの駆除による在来種のカメ類の生息状況の変化
4	兵庫県立尼崎小田高等学校	大阪湾の潮下帯上部で採集されるワレカラ類の遺伝子解析
5	田村山生き物ネットワーク	長浜市南部のカシミサンショウウオ集団の保護に向けた生態調査と遺伝子解析
6	ミドリガメの会	大阪平野におけるミシシippアカミガメの侵入状況とその生態の調査
7	特定非営利活動法人 漁師のNPO	高知県室戸市沖に設置された大型定置網で捕獲される魚類の多様性に関する研究
8	近畿大学大学院 農学研究科	琵琶湖・淀川水系における外来カメ類の侵入状況と淡水魚に与える影響
9	レッドイヤースライダーズ	外来種ミシシippアカミガメの駆除
10	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	オオサンショウウオの繁殖行動の解明ならびに繁殖巣穴の構造等の解析に関わる調査研究